



健康新聞 平成 25 年 4 月号

「ピロリ菌ってどんな菌?」



今村病院 健康管理センター

日増しに春らしさを感じられるようになってきましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

今月は、胃の中に潜む「ピロリ菌」についてお話をしたいと思います。これまで、ピロリ菌の除菌治療は、胃潰瘍などの重い病気の場合のみ保険が適用されていましたが、平成 25 年 2 月 21 日より慢性胃炎においても保険の適用が認められるようになりました、早期治療によって胃がんの予防に繋がると注目されています。

1. 「ピロリ菌」って?



正式名：ヘリコバクターピロリ

人の胃の中に住みつく細菌で、慢性胃炎や胃・十二指腸潰瘍、胃がんの発生の原因になるといわれています。

子供の頃に感染し、一度感染すると多くの場合、除菌しない限り胃の中にすみつけます。ピロリ菌の感染が続くと感染範囲が「胃の出口」の方から「胃の入口」の方に広がって、慢性胃炎（ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎）が進みます。この慢性胃炎が、胃潰瘍や十二指腸潰瘍、萎縮性胃炎、胃がん、さらには全身的な病気などを引き起こすことがあることが明らかになってきました。

2. 「ピロリ菌」はどのように感染するの?

はっきりとした感染経路は分かっていませんが、以下のような原因が考えられており、大部分は飲み水や食べ物を通じて、人の口から体内に入ると考えられています。



くち
くち
口～口
感染

歯垢やだ液から
ピロリ菌が
検出された

ふん
くち
糞～口
感染

ふん便から
ピロリ菌が
検出された

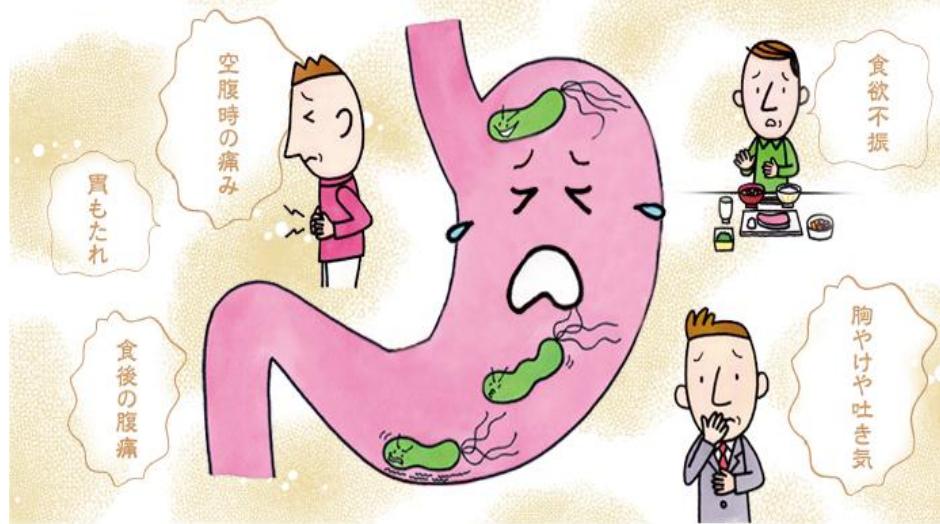
飲料水
からの感染

上下水道が
完備していない
海外で検出された
ところもある

上下水道の完備など生活環境が整備された現代日本では、生水を飲んでピロリ菌に感染することはありません。また、夫婦間や恋人間でのキス、またコップの回し飲みなどの日常生活ではピロリ菌は感染しないと考えられています。ピロリ菌は、ほとんどが 5 歳以下の幼児期に感染すると言われています。幼児期の胃の中は酸性が弱く、ピロリ菌が生きのびやすいためです。そのため最近では母から子へなどの家庭内感染が疑われていますので、ピロリ菌に感染している大人から小さい子どもへの食べ物の口移しなどには注意が必要です。

3. こんな症状にご注意!!

下記のような症状を「ただの食べすぎかな」や「加齢現象でおこるものだ」と思い込んで放置していませんか？



これらの症状が続くとき、**慢性胃炎**、**胃潰瘍**、**十二指腸潰瘍**などの病気が疑われます。

胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍の患者さんは、ピロリ菌に感染していることが多く、慢性胃炎の発症の原因や、潰瘍の再発に関係していることが、分かっています。症状を認めたなら、一度病院で相談してみることをおすすめします。



4. ピロリ菌の検査と治療方法って?

検査について

まずはピロリ菌に感染しているかどうか検査によって確かめる必要がありますので、医療機関で検査方法について相談をしてください。検査方法には、内視鏡を使って採取した組織を使って検査する方法や、血液や尿中の抗体、便中の抗原を調べる検査方法、呼気を採取して検査する方法などがあります。

治療方法について

ピロリ菌を薬を使って退治することを「除菌」といいます。

ピロリ菌の除菌療法は、**2種類の「抗菌薬」と「胃酸の分泌を抑える薬」合計3剤を服用**します。

1 日 2 回、7 日間服用する治療法です。正しくお薬を服用すれば除菌療法は約 80% の確率で成功します。除菌療法のあと、もとの病気の治療を行います。（除菌療法の前にもとの病気の治療を行う場合もあります。）



全ての治療が終了した後、4 週間以上経過してからピロリ菌を除菌できたかどうかの検査を行います。これでピロリ菌がいなくなっているれば除菌成功です。

☆☆ 除菌治療中に注意すること!! ☆☆



- 除菌治療の間に気になる症状を感じた場合は、主治医または薬剤師に相談してください。
(例：柔便・下痢・味覚異常などの副作用が起こる場合があります)
- 指示された薬は、スケジュールに沿って服用してください。
途中で飲むのを中止したり飲み忘れたりすると、治療がうまくいかず治療薬に耐性を持ったピロリ菌が現れて薬が効かなくなることがあります。

最後に・・・

ピロリ菌の除菌療法が成功しても、定期的な検査は受けてください。

ピロリ菌の除菌が成功すると、様々な病気のリスクは減りますがゼロにはなりませんので、医師と相談の上定期的な検査を続けるようにしてください。